

もなかつたということです。

月日のたつのは早いもので、それこそ、



ちようよ花よと、下にもおかぬ育てようで、  
何ごともなく七年がすぎた春のこと、娘の  
成長ぶりを方部の人たちに見てもらおうと、  
観音さまの境内で花見の宴を開きましたが、  
長者の日頃のごうまんさに酒も手伝った  
のでしよう。「この観音さまはうそつきだ。  
子供がさずかるようにお願いしたが、子  
供はさずかるべくしてさずかったのだ。そ  
のしように、観音さまのご利益で子供が  
さずかったならば、四年たてばどちらか死  
んでいるはずなのに、七年たっても、おれ  
たち夫婦、そろってピンピンしているでは